

標記爭議ニ関スル其後ノ状況左ノ通りニ有之

記

一、會社側ノ状況

會社側ニ於テハ表面對策ヲ決定セルガ内面大川 淺
野兼ノ融和ヲ欠ク居ル為メ會社ノ再建方策ニ付テハ
尚一致セサル莫アリ從テ本爭議解決ニ付テハ積極的
展開策ヲ執ラス推移ニ任セツアルノ状況ナリ

二、爭議團側ノ状況

(1) 共同斗争ヲ為スニ至リタル東京鋼板爭議團本部主
催ノ本月二十日ノ演説會ニハ應援トシテ約二十五
名應援シ内三名ハ年々一ニテ大島製鋼爭議ノ現状
ヨリ資本家ノ不誠意ニ對シテ世事引揚ケタリ

(2) 翌二十二日前記東京鋼板爭議團本部ヨリ十三名来
援シ集合セル團員ヲ激勵スル処アリタリ

(3) 本月二十二日正午爭議幹部管檢外十名ハ大島町メ
日本鑄鋼會社工場ニ至リ海老澤庶務主任ト會員爭
議團本部宛匿名ノ端書ヲ示シタル右管ヨリ
貴工場ニテハ近ク職工飢首アル由ナルガ之ガ眞否
ヲ實ス可ク當爭議團員ニ依頼サレタルガ文意ニ依
レバ斷然ストライキヲ実行スル旨記載アルニヨリ
交渉スル旨速タルニ
庶務主任ヨリハ

星示ノ端書ハ只日本鑄鋼ノ職工トアリ眞偽不明ナ
ルノミナラズ外部ノ者ニ對シ何等回答ノ要ナント
ク